



単元の最後に、これまでの学習成果を生かすために、情報発信の体験をすることにした。児童からは、「ホームページ、ポスター、手紙、新聞等」の発信手段が出された。個人やグループで、楽しく取り組む姿が見られた。活動の中で児童は、個人のプライバシーを守ることの大切さに気づいていった。

### 3. 実践の考察

課題意識を高める

単元の導入段階でテレビ番組欄を調べるという具体的な活動を通して、児童は天気予報が多く放送されている事実を知り、自分の考えた予想との違いから、課題意識を高めていった。また、追究結果をもとにした話し合いの中から、新たな課題が生み出され、学習の対象を児童自らが広げていくことができた。

さらに、調べる対象を児童自身に自己選択させたことで、一人一人の児童が、自分ならではの課題意識を持って、意欲的に追究活動に取り組むことができた。

課題に対する予想を立てたり検証したりするときに使用したワークシートが、児童の思考の流れに沿っていたかどうかについては課題が残るところもあった。今後、児童の思考過程や追究方法の傾向に応じながらより有用なものに改善していく必要がある。

追究意欲を持続させる

予想をもとに実際に見学をする体験的な学習を取り入れたことにより、自分の予想を実際に調べ、検証することができ、主体的な学習を促すことができた。

また、計画の段階やそれぞれの場所に出かけて行った調べ学習の段階で、T、Tで指導にあたったので、より多くの児童の実態に応じて支援の手を差しのべることができた。さらに、児童個々の追究の過程を見取りながら、きめ細かな支援を行うことが大切である。

社会的事象の持つ意味を考える

調べて分かったことをもとに、視点を設けて話し合いを進めたことにより、考える内容について焦点化が図られ、自分の考えと友達のことを比較しながら考えを深めることができ、より広い意味で社会的事象の意味や働きについて考えを深めることができた。

#### 5学年のページ

5学年では、社会科で情報の学習をしています。ここでは、総合学習で勉強したことを発信します。5年生のテーマ

#### 「協力する 5年生」

わたしたち5年生は男だけ、女だけと固まらず、みんなで協力できる元気がほしいの5年生です。女子31人、男子28人で2クラスありますが、休み時間には1組と2組がまざって遊ぶ姿も見られます。こんなに楽しい5年生の「協力する」姿を、総合学習の様子や宿泊学習、学年発表の様子を通してご覧ください。

#### 【総合学習—けやきタイム—】

私達の学校では総合学習の時間を「けやきタイム」と呼んでいます。5年生には手話が得意な人が2人もいるので、その人たちから手話を学びました。あいさつからはじめ、今では、いろんな歌を手話にできるようになりました。わからないところはみんなで協力して教え合いました。みんな手話が上手になりました。

#### 5年生一口メモ

音楽の時間に、曲のアンサンブルの発表が時々あります。みんなで「協力」してがんばりました。

#### 「宿泊学習 野外炊飯」



宿泊学習に私たちは、9月6日から8日まで「国立那須甲子少年館の家」へ行きました。野外炊飯で、班ごとにカレーを作りました。班の中で分担して作業に取り組みました。協力し合って作ったカレーは「とてもおいしかったです」。

#### 5年生一口メモ

国語の時間の朗読の時、わからない漢字をまわりの人がそっと教えてあげま